

CCDバーコードタッチリーダー スリムタイプ

AC - 880

日本語訳 設定マニュアル

第 1版

はじめにお読み下さい

# 目次

1 はじめに 本書について	1	バーコードの読取条件	14
あらかじめご承知いただきたい事項	1	UPC-A	14-15
改訂履歴	1	UPC-E	16-17
2 設置方法	2	EAN-13, JAN-13	18-19
AC-880の接続 (AC-880-USB, USB接続)	2	EAN-8, JAN-8	20-21
動作環境	2	Code39	22-23
接続の概要	2	Interleaved2of5, ITF	24-25
接続の方法およびドライバのインストール	2	NW-7(Codabar)	26-28
WindowsXP/2000/Me	2	Code128	29
Windows98SE	3	前置文字 / 後置文字 /	
接続とドライバをインストールした後の確認	3	プリフィックス / サフィックス	30-31
動作確認	3	7 アスキーコード表	32
3 設定の手順(フローチャート)	4	8 16進 / 10進数値	
設定の手順の例	5	設定開始 / 設定終了 / セット	33
4 データを出力する順番	6	9 付録	
5 初期設定の内容	7	1. 推奨する設定	34
6 設定用バーコード	8	2. よく使う設定の例	35
設定開始 / 設定終了	8		
初期化	8		
設定中止	8		
動作環境	9		
端末の種類	9		
CapsLock	9		
キーボードレイアウト	9		
ファンクションキー変換	9		
スキャナー制御 (1)	10		
起動時の音	10		
起動時の自動トリガー	10		
正読表示 LED	10		
正読通知ブザー	10		
スキャナー制御 (2)	11		
スキャニング・モード	11		
スキャナー制御 (3)	12		
コード識別子の付加	12		
コード識別子の位置	12		
スキャナー制御 (4) (値設定)	13		
ブザー音量	13		
ブザー時間	13		
正読待ち時間	13		
正読遅れ時間	13		
アドオンの待ち時間	13		

**はじめに 本書について**

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

**安全上のご注意**

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様への危害や財産への損害を未然に防止するための注意事項を記載しております。警告表示および絵記号の意味は次の通りです。

**警告表示の説明****警告**

嚴重に守って頂きたい事項。その指示に従わないと、生命の危険または重症を負う恐れがあります。

**注意**

安全上、特に注意していただきたい事項。その指示に従わないと障害を負う恐れ、または物的損害を引き起こす可能性があります。

**絵記号の説明**

この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。



この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。

**警告**

煙、臭い、発熱などの異常に注意する  
煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常が発生したら、コンセントを抜くなどして使用を中止してください。  
そのまま使用すると火災・感電の原因になります。



本製品の分解・改造・修理を自分で行わない  
火災・感電・故障の原因になります。



開口部から金属類、液体などの異物を入れない  
火災・感電・故障の原因になります。



落としたり、強い衝撃を与えない  
本製品を落としたりして破損したまま使用すると、火災・感電・故障の原因になります。



次のような場所で使用しない  
火災・感電・故障の原因になります。  
・直射日光が長時間当たる場所  
・粉塵の多い場所  
・湿気が多い場所や水を使う場所  
・急激な温度変化がある場所（結露のある場所）  
・暖房機器などの発熱の近く  
・強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所



次のような装置・環境で使用しない  
・人体の保護を目的とした装置  
・大きな財産への影響が予想される環境  
本製品の故障により周囲の機器に影響し、けがをする原因や、物的損害が発生する原因となることがあります。

**注意**

長期的な振動や強い衝撃は与えない  
故障の原因になります。



揮発性の有機溶剤や薬品、科学雑巾で拭かない  
ケースの変形や変色の原因になります。



ラジオやテレビに近づけない  
ラジオやテレビに雑音が入る場合があります。



異なる電圧では使用しない  
本器への入力電圧はDC5V±5%です。異なる電圧では使用しないでください。故障の原因になります。

**あらかじめご承知いただきたい事項**

本製品の仕様および本書は改良のため予告なく変更する場合があります。

本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製することを禁じます。

本製品の運用上生じた損失については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

保証については巻末をご覧ください。

**改訂履歴**

2005年 9月 第 1 版

2009年 10月 第 1 版 Rev1.8

## 設置方法 “Instillation”

AC-880の接続 (AC-880-USB,USB接続)

### 動作環境

コンピュータ	IBM PC/AT互換機 (DOS/Vマシン)
OS	WindowsXP/2000/Me/98SE
接続するポート・コネクタ	USB(USB ver1.1または USB2.0)、USB-Aコネクタ
制限事項	USBインターフェースは全ての環境での動作を保証するものではありません。 WindowsNT/95は USBをサポートしていませんので動作しません。

### 接続の概要

コンピュータの起動

AC-880の接続

ドライバのインストール

WindowsXP/2000/Me: OSが自動インストールします

Windows98SE: マウスとキーボードを使用してインストールウィザードを操作します

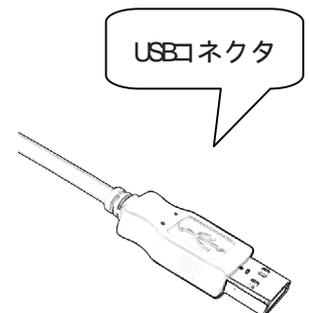
接続 (セットアップ) の完了

### 接続の方法 および ドライバのインストール

ドライバ	USB HID(ヒューマンインターフェース)クラスドライバ
ドライバの場所	USB HIDクラスドライバはコンピュータ (Windows) のハードディスク内のシステムフォルダに格納されています。 製品にドライバの CD-ROMなどは同梱されていません。 コンピュータの状態によっては、OSの CD-ROMが必要になります。

#### WindowsXP/2000/Me

- (1) スキャナーの USBコネクタをコンピュータの USBコネクタへ接続します。  
コンピュータ本体の USBコネクタに直接接続してください。
- (2) スキャナーに電源が入ります。  
起動時のブザー (メロディ) が鳴ります。  
起動時のブザーは鳴らさないように設定を変更できます。  
設定の変更はドライバのインストールが完了してから行ってください。
- (3) Windowsが自動的に USBドライバのインストールを開始します。
- (4) コンピュータの画面に、「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました」と表示されるまでお待ちください。表示されると、ドライバのインストールは完了です。



## Windows98SE

- (1) スキャナーの USBコネクタをコンピュータの USBポートへ接続します。  
コンピュータ本体の USBコネクタに直接接続してください。
- (2) スキャナーに電源が入ります。  
起動時のブザー（メロディ）が鳴ります。  
起動時のブザーは鳴らさないように設定を変更できます。  
設定の変更はドライバのインストールが完了してから行ってください。
- (3) コンピュータの画面に「ドライバの接続ウィザード」ダイアログ画面が開きます。  
「このデバイス用の新しいドライバを探しています。しばらくお待ち下さい」というメッセージが表示されたら「次へ」をクリックします。
- (4) 「検索方法を指定して下さい」と表示されたら  
「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」をチェックし、「次へ」をクリックします。
- (5) ドライバの検索先指定ダイアログが表示されます。  
「検索場所の指定」をチェックし、白い枠内に半角で「C:\WINDOWS\INF」と入力します。  
入力したら「次へ」をクリックします。
- (6) 「USBヒューマンインターフェイスデバイス」「このデバイスに最適なドライバをインストール準備ができました」と表示されたら「次へ」をクリックします。
- (7) 「新しいハードウェアデバイスに必要なソフトウェアがインストールされました」と表示されたら「完了」をクリックします。  
ドライバのインストールが完了します。



**備考** パソコンの環境によっては、OS(Windows98SE)のCD-ROMを求めるメッセージが表示されることがあります。あらかじめOSのCD-ROMをご用意ください。

## 接続とドライバをインストールした後の確認

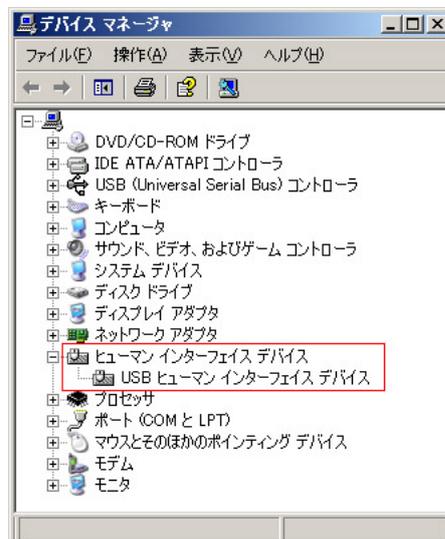
- (1) スキャナー側面のトリガースイッチを押して、読み取り窓から赤い走査ライン(赤色LED)が投光されることを確認してください。
- (2) Windowsがスキャナーを認識していることを確認します。  
Windowsのタスクバー-[スタート]-[設定]-[コントロールパネル]-[システム]-[ハードウェア]-[デバイスマネージャ]を開きます。
- (3) 「ヒューマンインターフェイスデバイス-USBヒューマンインターフェイスデバイス」が表示されていることを確認します。

**備考** AC-880(USB接続)のほかに、USBキーボードやUSBマウスを接続していると、複数のUSBヒューマンインターフェイスデバイスが表示されます。

## 動作確認

Windowsの「メモ帳\*」などを起動し、バーコードを読み取って画面にバーコードデータが表示されることを確認してください。動作を確認したら、必要に応じてスキャナーの設定を変更し、操作を開始して下さい。

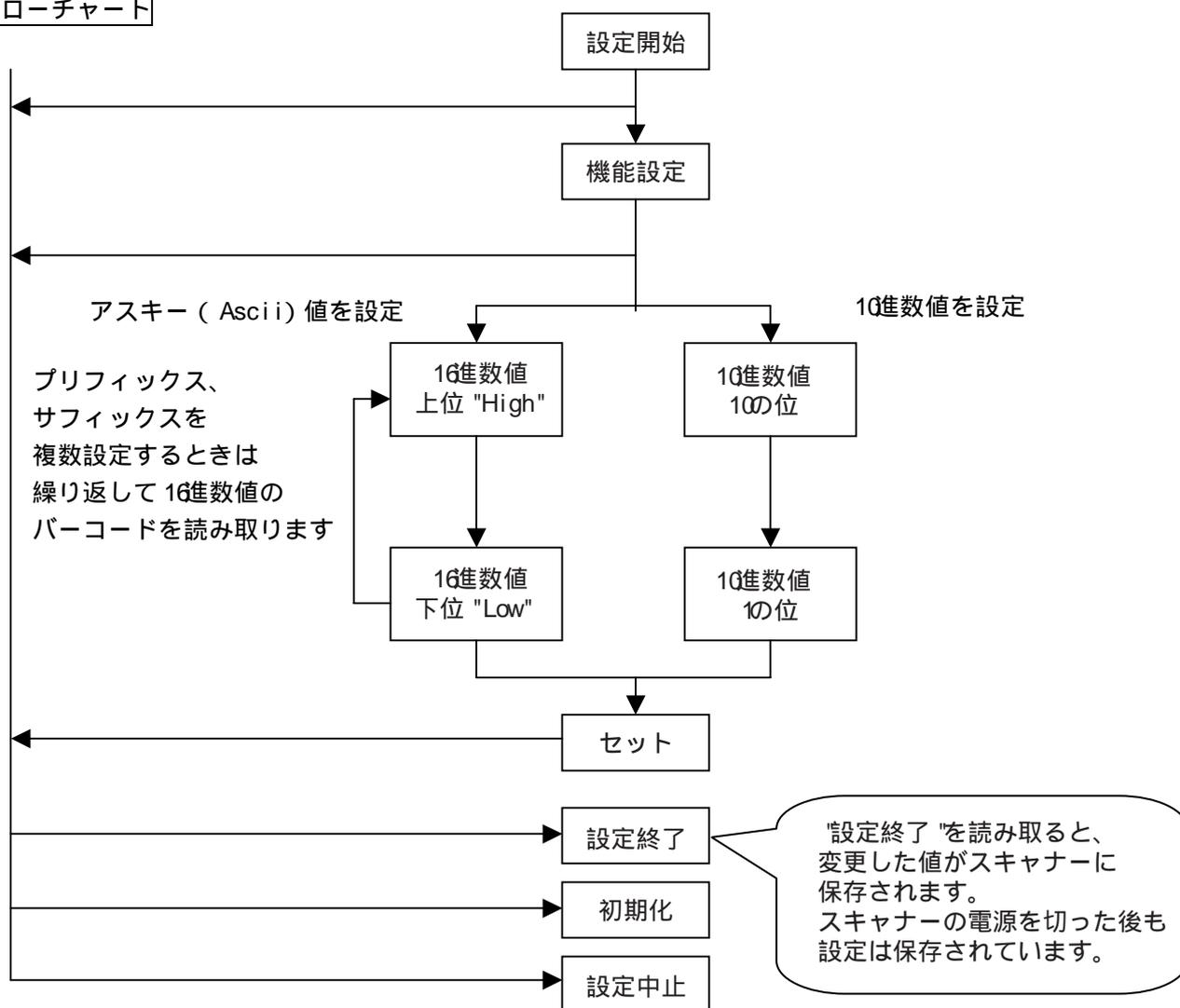
起動方法 :スタート -(すべての)プログラム -アクセサリ -メモ帳



## 設定の手順（フローチャート）

「設定用バーコード」を読み取る順番は、フローチャートに示す通りです。

### フローチャート



## 設定の手順の例

### 例 1

Code39で1桁のバーコードを読ませるために、最短の読み取り桁数に“01”を設定します。  
初期設定は4桁以上のCode39を読み取ります（最短の読み取り桁数の値が04）。

読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了 (16進/10進数値のページにも記載)	設定開始
2	バーコード読み取り条件 -Code39	最短の読み取り桁数
3	16進/10進数値	“0”
4	16進/10進数値	“1”
5	16進/10進数値	セット
6	設定の開始と終了 (16進/10進数値のページにも記載)	設定終了

### 例 2

スキャナーのスキヤニング・モードを連続読み取りに設定します。  
初期設定は「タイムアウト・オフ」の設定です

読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了	設定開始
2	スキャナ制御 - スキヤニング・モード	連続読み取り
3	設定の開始と終了	設定終了

### 例 3

プリフィックス 1つ目にアスキー文字“A”（アスキーコード 0x 41）を設定します。  
プリフィックス 2つ目にアスキー文字“B”（アスキーコード 0x 42）を設定します。

読み取る順番	参照する項目	読み取る設定用バーコード
1	設定の開始と終了 (16進/10進数値のページにも記載)	設定開始
2	プリフィックス	付加する
3	プリフィックス・データ	データ
4	16進/10進数値	“4”
5	16進/10進数値	“1”
6	16進/10進数値	“4”
7	16進/10進数値	“2”
8	16進/10進数値	セット
9	設定の開始と終了 (16進/10進数値のページにも記載)	設定終了

## データを出力する順番

前置文字、後置文字、プリフィックス、サフィックス、コード識別子、バーコードデータの出力順を下記の「データ出力順の表」に示します。

### データ出力順の表

(左側が先頭)

設定項目	出力データ								
	前置文字 Preamble		プリフィックス Prefix	コード 識別子 CodeID	バーコードデータ	コード 識別子 CodeID	サフィックス Suffix	後置文字 Postamble	
	Data0	Data1		Data		Data		Data0	Data1
桁数	1	1	0-10	1(2)*	-	1(2)*	0-10	1	1
設定の例									
設定する値	00	00	41 42 43	4D		00	31 32 33	0D	0A
アスキー	Null	Null	A B C	M		(無し)	1 2 3	CR	LF
スキャナーの キー出力	無し	無し	A B C	M	バーコードデータ	(無し)	123	ENTER	(無し)

#### \*コード識別子

出力する位置はバーコードデータの前か後のどちらか一方です。

設定によって変更します。初期設定は、「出力しない」、「バーコードデータの前」です。

UPC-Aと EAN-8のコード識別子については、設定できる桁数は 2桁です。

## 初期設定の内容

## 動作環境設定

項目	初期設定
端末の設定	IBM PC/AT互換機
CapsLock	英大文字
キーボードのレイアウト	USAキーボード
ファンクションキー変換	変換しない

## スキャナー制御

項目	初期設定
起動時の音	鳴らす
起動時の自動トリガー	無効
正読表示 LED	点灯する
正読通知ブザー	鳴らす
スキャニング・モード	タイムアウト・オフ
コード識別子の付加	付加しない
コード識別子の位置	バーコードの前

## 値設定

項目	値	内容
ブザー音量	05	レベル 5
ブザー時間	06	6ミリ秒
正読待ち時間(スタンバイ・タイム)	15	15秒
正読遅れ時間	05	50ミリ秒
アドオンの待ち時間	50	500ミリ秒

## バーコード読み取り条件 \*

バーコード規格	コード読み取り	読み取り桁数		コード識別子	
		最短	最長	文字	値
UPC-A	読み取る	-	-	A	41(0x41)
UPC-E	読み取る	-	-	E	45(0x45)
EAN-13 , JAN-13	読み取る	-	-	F	46(0x46)
EAN-8 , JAN-8	読み取る	-	-	FF	46(0x46) 46(0x46)
Code39	読み取る	0	0	M	4D(0x4D)
Interleaved 2 of 5	読み取らない	6	0	I	49(0x49)
NW-7(Codabar)	読み取る	4	0	N	4E(0x4E)
Code128	読み取る	0	0	K	4B(0x4B)

詳細な設定項目はそれぞれのバーコード読み取り条件のページをご覧ください。

## 前置文字“ Preamble” /後置文字“ Postamble” /プリフィックス“ Prefix” /サフィックス“ Suffix”

項目	値	内容
前置文字“ Preamble” Data0	00(0x00)	NULL
前置文字“ Preamble” Data1	00(0x00)	NULL
後置文字“ Postamble” Data0	0D(0x0D)	CR
後置文字“ Postamble” Data1	0A(0x0A)	LF
プリフィックス“ Prefix”	00(0x00)	NULL
サフィックス“ Suffix”	00(0x00)	NULL

## 設定用バーコード

設定開始 / 設定終了

### 設定開始

設定モードを開始します。

上昇メロディが鳴ります。  
本体上部の確認 LEDが点滅します。



### 設定終了

設定モードを終了します。

下降メロディが鳴ります。  
本体上部の確認 LEDが消灯します。



## 初期化

### インターフェースの初期化

USBキーボードインターフェース

インターフェースが USBキーボードインターフェースに設定されます。また、**動作環境**が出荷時の初期値に設定されます。  
ブザーが 5回鳴った後、下降メロディが鳴り、設定モードが終了します。



### 機能の初期化

**動作環境以外の設定**が出荷時の初期値に設定されます。  
ブザーが 5回鳴った後、下降メロディが鳴り、設定モードが終了します。



## 設定中止

### 設定中止

設定モードを中止します。  
それまでに設定を行っていた内容がキャンセルされます。  
メロディが鳴り、設定モードが終了します。



端末の種類

IBM PC/AT互換機 (DOS/V)	 <p>DFA</p>
----------------------	---

CapsLock

<p>英大文字</p> <p>PCのキーボードが大文字入力の状態でバーコードを読み取ると、バーコードに含まれる英大文字は、大文字で入力されます。</p>	 <p>DDA</p>
<p>英小文字</p> <p>PCのキーボードを小文字入力の状態でバーコードを読み取ると、バーコードに含まれる英大文字は、<b>大文字</b>で入力されます。*</p>	 <p>DDB</p>

\*一般にコンピュータの起動直後は小文字入力 (CapsLockの LED消灯) の状態です。

キーボードのレイアウト

USAキーボード (US)	 <p>DGA</p>
日本語キーボード	 <p>DGM</p>

ファンクションキー変換

変換しない	 <p>DAB</p>
<p>変換する</p> <p>Code128などで表示されたアスキーコードの“0x00”から“0x1F”までを、スキャナーに割り当てられたファンクションキーに変換してコンピュータに出力します。*</p>	 <p>DBB</p>

\*割り当てられるキーについては「アスキーコード表」を参照して下さい。

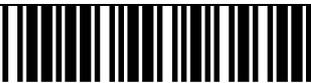
スキャナー制御 (1)

印は、出荷時初期設定です。

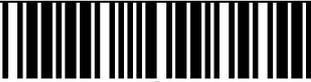
起動時の音

鳴らさない	 CBA
鳴らす スキャナーに電源が入り、正常に起動すると音 (メロディ)が鳴ります。	 CBB

起動時の自動トリガー

無効	 CCA
有効 スキャナーに電源が入り正常に起動した後に、 自動でトリガースイッチをオンの状態にしま す。	 CCB

正読表示 LED

点灯しない	 CDA
点灯する バーコードを読み取ると、本体上部の確認 LED が点灯します。	 CDB

正読通知ブザー

鳴らさない	 CEA
鳴らす	 CEB

設定開始



設定終了



スキャニング・モード

トリガー SW(スイッチ) による読取窓の光源赤色 LEDのオン/オフの動作を設定します。

<p>1 回読み取り (正読後オフ)                  英文取扱説明書では初期値ですが印刷ミスです</p> <p>正読後に読取窓の赤色 LEDがオフ。                  および、「タイムアウト・オフ」の指定時間の経過後に赤色 LEDがオフ。</p>	 <p>CAB</p>
<p>モーメンタリ</p> <p>トリガー SWを押している間のみ読取窓の赤色 LEDがオン。</p>	 <p>CAC</p>
<p>オルタネート</p> <p>トリガー SWを押すごとに読取窓の赤色 LEDがオン/オフを繰り返す。</p>	 <p>CAD</p>
<p>タイムアウト・オフ</p> <p>指定時間の経過後に読取窓の赤色 LEDがオフ。                  初期値：15 (15秒)                  「値設定」の「正読待ち時間」で値を設定します。</p>	 <p>CAE</p>
<p>タイムアウト通知</p> <p>指定時間の経過後に読取窓の赤色 LEDが点滅。                  初期値：15 (15秒)                  「値設定」の「正読待ち時間」で値を設定します。</p>	 <p>CAF</p>
<p>連続読み取り</p> <p>読取窓の赤色 LEDが常時点灯。</p>	 <p>CAG</p>

設定開始



設定終了



コード識別子の付加

付加しない	 <p style="text-align: center;">IBA</p>
付加する	 <p style="text-align: center;">IBB</p>

コード識別子の位置

バーコードデータの前	 <p style="text-align: center;">ICA</p>
バーコードデータの後	 <p style="text-align: center;">ICB</p>

設定開始



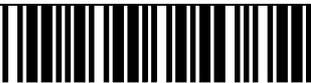
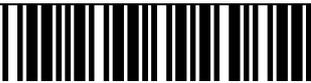
設定終了



スキャナー制御 (4)

値設定

<p>ブザー音量          値設定：01-10          初期値：05</p>	 BAC 次に値を設定
<p>ブザー時間          値設定：01-99 / 単位：10ミリ秒          初期値：06 (60ミリ秒)</p>	 BAE 次に値を設定

<p>正読待ち時間 (スタンバイ・タイム)          値設定：01-99 / 単位：1秒          初期値：15 (15秒)</p> <p>読み取り窓の赤色 LED点灯時間の設定。</p>	 BAF 次に値を設定
<p>正読遅れ時間          値設定：01-99 / 単位：10ミリ秒          初期値：05 (50ミリ秒)</p> <p>同一のバーコードを読み取るまでの時間指定。          [備考]          すぐに同じバーコードを読み取らないように          するためには、時間指定の値を大きく設定しま          す。          誤って同じバーコードをすぐに読み取るこ          とを防ぐ効果があります。</p>	 BAI 次に値を設定

<p>アドオンの待ち時間          値設定：01-99 / 単位：10ミリ秒          初期値：50 (500ミリ秒)</p> <p>EAN/JANのアドオン 2桁および 5桁を認識する          までの時間設定。</p>	 BAK 次に値を設定
---	---

設定開始



設定終了



バーコードの読取条件

UPC-A(1)

印は、出荷時初期設定です。

コード読み取り

読み取らない	 DVA
読み取る	 DVB

アドオン読み取り

読み取らない	 DVA
読み取る 2桁のみ	 DVB
読み取る 5桁のみ	 DVC
読み取る	 DVD

アドオン待ち

無効	 DXA
有効	 DXB

設定開始



設定終了



先頭の“0”削除

<p>削除しない</p> <p>桁数調整用の“0”（ゼロ）を UPC-Aの先頭に付加して 13桁で出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合</p>	 <p>DZA</p>
<p>削除する</p> <p>ナンバーシステムキャラクタ（先頭桁）が“0”（ゼロ）の時は、ナンバーシステムキャラクタ“0”を削除して 11桁で出力します*。</p> <p>ナンバーシステムキャラクタ（先頭桁）が“0”以外（1-9）の時は、12桁をそのまま出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合</p> <p>インスタコードなどの“0”が連続する UPC-Aは、先頭から連続する“0”を全て削除します。</p>	 <p>DZB</p>

チェックデジットの出力

<p>出力しない</p>	 <p>EAA</p>
<p>出力する</p>	 <p>EAB</p>

値設定

<p>先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）</p>	 <p>BAO</p>
<p>後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）</p>	 <p>BAP</p>
<p>コード識別子 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：41（アルファベット”A”）</p>	 <p>AAA</p>

設定開始



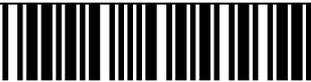
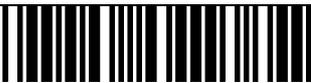
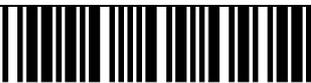
設定終了



コード読み取り

読み取らない	 ECA
読み取る	 ECB

アドオン読み取り

読み取らない	 EDA
読み取る 2桁のみ	 EDB
読み取る 5桁のみ	 EDC
読み取る	 EDD

アドオン待ち

無効	 EEA
有効	 EEB

設定開始



設定終了



先頭の“0”削除

削除しない  8桁で出力します。 (チェックデジットを「出力する」設定の場合)	 <p style="text-align: center;">EFA</p>
削除する  ナンバーシステムキャラクタ(先頭桁)の“0”を削除して出力します。*	 <p style="text-align: center;">EFB</p>

\*インストアコードなどの“0”が連続する UPC-Eは、先頭から連続する“0”を全て削除します。

“0”付加フォーマット(13桁拡張)

付加しない	 <p style="text-align: center;">EFA</p>
付加する  データに“0”を挿入し、 13桁に変換してデータを出力します*。 *チェックデジットを「出力する」設定の場合	 <p style="text-align: center;">EFB</p>

チェックデジットの出力

出力しない	 <p style="text-align: center;">EIA</p>
出力する	 <p style="text-align: center;">EIB</p>

値設定

先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00 (削除なし)	 <p style="text-align: center;">BAQ</p>
後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00 (削除なし)	 <p style="text-align: center;">BAR</p>
コード識別子 0 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：45 (アルファベット“E”)	 <p style="text-align: center;">AAB</p>
コード識別子 1 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：00 (無し)	 <p style="text-align: center;">AAC</p>

設定開始

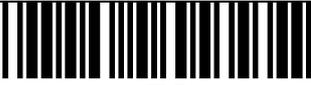
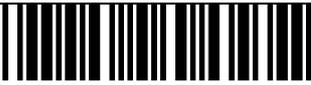
設定終了



コード読み取り

読み取らない	 EKA
読み取る	 EKB

アドオン読み取り

読み取らない	 ELA
読み取る 2桁のみ	 ELB
読み取る 5桁のみ  [備考] 新雑誌コード JAN-13アドオン 5桁を読み取り、 13桁と 5桁を連続して合計 18桁で出力します。 次に、「アドオン待ち」を「有効」に設定しま す。	 ELC
読み取る	 ELD

アドオン待ち

無効	 EVA
有効  [備考] JAN-13の隣のアドオンコードを認識するまで 読み取りを待ちます。	 EVB

設定開始



設定終了



先頭の“0”削除

削除しない	 <p>EPA</p>
削除する	 <p>EPB</p>

ISEN / ISSN変換

変換しない	 <p>ENA</p>
変換する 先頭が“978”で始まる13桁の書籍コードを、 10桁のISBNコードに変換します。*	 <p>ENB</p>

\*先頭3桁“978”を取り除き、最終1桁をISBN用チェックデジットに変換します。

チェックデジットの出力

出力しない	 <p>EQA</p>
出力する	 <p>ECB</p>

値設定

先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）	 <p>BAS</p>
後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）	 <p>BAT</p>
コード識別子 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：46（F）	 <p>AAD</p>

設定開始



設定終了



コード読み取り

読み取らない	 ESA
読み取る	 ESB

アドオン読み取り

読み取らない	 ETA
読み取る 2桁のみ	 ETB
読み取る 5桁のみ	 ETC
読み取る	 ETD

アドオン待ち

無効	 EUA
有効	 EUB

設定開始



設定終了



先頭の“0”削除

削除しない	 EXA
削除する	 EXB

“0”付加フォーマット（13桁拡張）

付加しない	 EVA
付加する データの先頭に“0”を付加し、13桁に変換してデータを出力します*。	 EVB

チェックデジットを「出力する」設定の場合

チェックデジットの出力

出力しない	 EYA
出力する	 EYB

値設定

先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）	 BAA
後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）	 BAV
コード識別子 0 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：46（F）	 AAE
コード識別子 1 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：46（F）	 AAF

設定開始

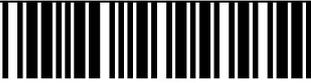
設定終了



## コード読み取り

読み取らない	 FAA
読み取る	 FAB

## 出力フォーマット

標準	 FBA
フルアスキー [備考] Full Ascii Code39として読み取りと出力を実行 します。	 FBB

## スタート / ストップの出力

出力しない	 FFA
出力する [備考] Code39のスタート / ストップは“ *”。	 FFB

## チェックデジットの検査

検査しない	 FGA
検査する [備考] チェックデジットが含まれる Code39のみ読み 取ります。 Code39のチェックデジット算出方法はモジュ ラス 43です。	 FGB

設定開始



設定終了



## チェックデジットの出力

出力しない	 F-A
出力する  [備考] チェックデジットの検査の設定を「検査する」 に設定した時に使用できる設定です。	 F-B

## 値設定

先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）	 BAY
後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）	 BAZ
最短の読み取り桁数 値設定：01-48 / 単位：1桁 初期値：00（桁数の設定なし）	 BAW
最長の読み取り桁数 値設定：01-48 / 単位：1桁 初期値：00（桁数の設定なし）	 BAX
コード識別子 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：4D（M）	 AAG

設定開始



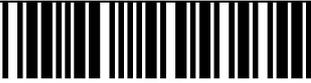
設定終了



コード読み取り

読み取らない	 <p>FKA</p>
読み取る	 <p>FKB</p>

チェックデジットの検査

検査しない	 <p>FNA</p>
検査する [備考] チェックデジットが含まれる Interleaved2of5 のみ読み取ります。チェックデジット算出方法 はモジュラス 10ウェイト 3です。	 <p>FNB</p>

チェックデジットの出力

出力しない	 <p>FCA</p>
出力する [備考] チェックデジットの検査の設定を「検査する」 に設定した時に使用できる設定です。	 <p>FCB</p>

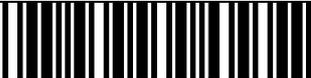
設定開始



設定終了



## 値設定

<p>先頭桁の削除          値設定：00-15 / 単位：1桁          初期値：00 (削除なし)</p>	 BBC
<p>後尾桁の削除          値設定：00-15 / 単位：1桁          初期値：00 (削除なし)</p>	 BED
<p>最短の読み取り桁数          値設定：02-48 / 単位：1桁          初期値：06 (6桁)</p> <p>[備考]          Interleaved2of5の桁数は偶数桁です。          値設定は偶数を設定します。</p>	 BBA
<p>最長の読み取り桁数          値設定：02-48 / 単位：1桁          初期値：00 (桁数の設定なし)</p> <p>[備考]          Interleaved2of5の桁数は偶数桁です。          値設定は偶数を設定します。</p>	 BBB
<p>コード識別子          値設定：00-7F / アスキー値          初期値：49 (アルファベット" I" )</p>	 AAH

設定開始



設定終了



## コード読み取り

読み取らない	 GFA
読み取る	 GFB

## スタート / ストップの出力種類 \*

ABCD / ABCD	 GGA
abcd / abcd	 GGB
ABCD / TN*E	 GGC
Abcd / tn*e	 GGD

\*スタート / ストップの表示は本製品の CapsLock (p9) が英小文字の設定、またはパソコンの CapsLock がオン (英大文字入力) の場合での表示です。  
本製品の CapsLock (p9) が英大文字の設定 (初期設定) 、またはパソコンの CapsLock がオフ (英小文字入力) の場合、「ABCD」設定時は「abcd」、「abcd」設定時は「ABCD」と入力されます。例えば、「ABCD」で入力したいときに「abcd」と入力される場合は、「abcd/abcd」を設定するか CapsLock (p9) を英小文字に設定してください。

## スタート / ストップの一致検査

検査しない	 GHA
検査する	 GHB

設定開始



設定終了



## スタート / ストップの出力

出力しない	 G1A
出力する	 G1B

## チェックデジットの検査

検査しない	 G2A
検査する  [備考] チェックデジットが含まれる NW-7(Codabar)のみ読み取ります。 チェックデジット算出方法はモジュラス 16 日本国内ではモジュラス 16以外の算出方法が多く利用されていますので、ご使用前によくご確認ください。	 G2B

## チェックデジットの出力

出力しない	 G3A
出力する  [備考] チェックデジットの検査の設定を「検査する」に設定した時に使用できる設定。	 G3B

設定開始



設定終了



## 値設定

先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）	 BBS 次に値を設定
後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）	 BBT 次に値を設定
最短の読み取り桁数 値設定：01-48 / 単位：1桁 初期値：04（4桁）	 BBQ 次に値を設定
最長の読み取り桁数 値設定：01-48 / 単位：1桁 初期値：00（桁数の設定なし）	 BBR 次に値を設定
コード識別子 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：4E（アルファベット”N”）	 AAL 次に値を設定

設定開始



設定終了



## コード読み取り

読み取らない	 GVA
読み取る	 GVB

## チェックデジットの検査

記載省略。

Code128の仕様では、チェックデジットは必ず含むことが規定されています。

出荷時の「チェックデジットを検査する」の設定のままでご使用ください。

チェックデジットの算出方法はモジュラス 103ウエイト 3

チェックデジットは 1桁。

一般に、バーコードラベルの目視確認文字にチェックデジットは表示されていません。

## 値設定

先頭桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）	 BBV 次に値を設定
後尾桁の削除 値設定：00-15 / 単位：1桁 初期値：00（削除なし）	 BBX 次に値を設定
最短の読み取り桁数 値設定：01-48 / 単位：1桁 初期値：00（桁数の設定なし）  [備考] チェックデジット 1桁を含む値（桁数）を指定 します。	 BBV 次に値を設定
最長の読み取り桁数 値設定：01-48 / 単位：1桁 初期値：00（桁数の設定なし）  [備考] チェックデジット 1桁を含む値（桁数）を指定 します。	 BBV 次に値を設定
コード識別子 値設定：00-7F / アスキー値 初期値：4B（アルファベット "K"）	 AAM 次に値を設定

設定開始



設定終了



前置文字の付加 (プリアンブル "Preamble")

付加しない	 IEA
付加する	 IEB

前置文字 (プリアンブル "Preamble") のデータ

データ 0 値設定 : 00-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)	 AAZ 次に値を設定
データ 1 値設定 : 00-7F / アスキー 初期値 : 00 (値なし)	 ABA 次に値を設定

後置文字 (ポスタンプル "Postamble") の付加

付加しない	 IFA
付加する	 IFB

後置文字 (ポスタンプル "Postamble") のデータ

データ 0 値設定 : 00-7F / アスキー 初期値 : 0D ( " CR" )	 ABB 次に値を設定
データ 1 値設定 : 00-7F / アスキー 初期値 : 0A ( " LF" )	 ABC 次に値を設定

設定開始



設定終了



プリフィックス " Prefix"

付加しない	 IGA
付加する	 IGB
データのクリア 設定したプリフィックスデータを消去します。	 IMA

プリフィックス・データ " PrefixData"

データ 値設定 : 00-7F / アスキー値 初期値 : 00 (値なし)  [備考] データの最大設定数は 10キャラクタまで。	 ABF 次に値を設定
---	---

サフィックス " Suffix"

付加しない	 IHA
付加する	 IIB
データのクリア 設定したサフィックスデータを消去します。	 INA

サフィックス・データ " SuffixData"

データ 値設定 : 00-7F / アスキー値 初期値 : 00 (値なし)  [備考] データの最大設定数は 10キャラクタまで。	 ABG 次に値を設定
---	---

設定開始



設定終了



## アスキーコード表 “ Ascii Code Table”

L \ H	0	1	0	1	2	3	4	5	6	7
0	Null	なし	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	Up	F1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	Down	F2	STX	DC2	“	2	B	R	b	r
3	Left	F3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	Right	F4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	PageUp	F5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	PageDown	F6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	なし	F7	BEL	ETB	‘	7	G	W	g	w
8	BackSpace	F8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	TAB	F9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	なし	F10	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	なし	ESC	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	なし	F11	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	ENTER	F12	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	Insert	Ctrl+	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	Delete	Alt+	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

ファンクションキー変換

[アスキーコード表について]

言葉の意味は次の通りです。 H=High( 16進数上位) L=Low( 16進数下位)

[文字について]

- “ 0x5C” は ISO規格では “ バックスラッシュ ” ですが日本語環境では ANKに基づく “ ¥” (円記号) になります。
- “ 0x7E” は ISO規格では “ オーバーライン ” ですが日本語 Windows環境では “ ~(チルダ) ” が表示されます。

[罫掛け部分について]

前置文字 (プリアンブル) 後置文字 (ポスタンプル) プリフィックス、サフィックスに “ 0x01” から “ 0x1F” までの値を設定すると、表に示したファンクションキーに変換されます。 \*

「 Ctrl+ 」 「 Alt+ 」 は単独では使用できません。次に続く 1 キーと組み合わせてアプリケーションに割り当てられたショートカットキーとして設定します。

例：プリフィックスに “ Ctrl+ f” を設定する

[設定開始]-[プリフィックス:付加する]-[プリフィックスデータ:データ]-  
[16進 /10進数値 :1 - E - 6 - 6]-[セット]-[設定終了]

前置文字 (プリアンブル) 後置文字 (ポスタンプル) プリフィックス、サフィックスに “ 0x01” から “ 0x1F” までのファンクションキーを設定する場合は、設定項目 「ファンクションキー変換」 は 「変換しない」 (初期値) のままで設定してください。

「ファンクションキー変換」 はスキャナーが読み取ったバーコード (Code128など) に含まれる “ 0x01” から “ 0x1F” までの値をファンクションキーに変換する設定です。

## 16進 / 10進数値 および設定開始、設定終了

値設定に使用する設定用バーコード

## 設定開始

設定モードの開始。	
-----------	--

## 16進 / 10進数値 値設定の設定項目で、アスキー値および 10進数の値を設定します。

0	 %00	8	 %08
1	 %01	9	 %09
2	 %02	A	 %0A
3	 %03	B	 %0B
4	 %04	C	 %0C
5	 %05	D	 %0D
6	 %06	E	 %0E
7	 %07	F	 %0F

## セット

16進 / 10進数値を設定。	 %0X
-----------------	--

## 設定終了

設定モードの終了。	
-----------	--

## 付録

## 1. 推奨する設定

はじめてスキャナを使用するとき、次の設定を行うことをお勧めいたします。

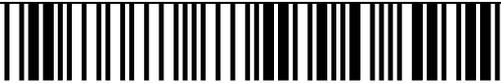
設定開始 メロディが鳴ります。	
インターフェースの選択 USBキーボードインターフェース ブザーが 5回鳴り、メロディが鳴ります。 一度設定モードが終了します。	
設定開始 メロディが鳴ります。	
機能の初期化 ブザーが 5回鳴り、メロディが鳴ります。 一度設定モードが終了します。	
設定開始 メロディが鳴ります。	
端末の種類 IBM PC/AT互換機 (DOS/V)	 DFA
キーボードレイアウト 日本語キーボード	 DGM
CapsLock 英小文字	 DDB
Interleaved 2of 5 読み取る	 FKB
設定終了 メロディが鳴ります。	

## 2. よく使う設定の例

〔設定内容〕

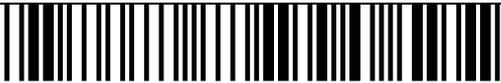
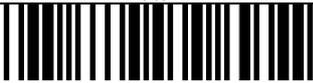
バーコードの後に TABを付加する。

初期設定では後置文字に ENTER (CR/LF)が付加されています。初期設定の ENTERから TABに変更します。

設定開始	
後置文字 データ 0	 ABB
値設定 (アスキー上位 " High" ) 0	 %01
値設定 (アスキー下位 " Low" ) 9	 %09
セット	 %OK
設定終了	

〔設定内容〕

上記の設定例で設定した TABを ENTERに戻す。

設定開始	
後置文字 データ 0	 %ABB
値設定 (アスキー上位 " High" ) 0	 %00
値設定 (アスキー下位 " Low" ) D	 %0D
セット	 %OK
設定終了	

## 保証と修理について

### 保証について

---

本製品には保証書が添付されておりません。ただし、弊社が製品の製造番号（シリアルナンバー、S/N）により保証期間を管理しておりますので、保証規定に基づく保証対象製品といたしております。

#### 保証規定

保証規定はお客様が購入された本製品について、修理などに関する保証の条件等を規定するものです。

#### 保証期間

お買い上げから 1年間

#### 無償保証

製品が正常な使用状態のもとで故障した場合、保証期間内に当社に対し修理を依頼することにより、無償保証の適用を受けることができます。但し、保証期間内であっても次に掲げる場合は無償保証の適用を受けることができません。

1. 修理依頼時に、修理依頼書をご提示いただけない場合。
3. 使用上の誤り（落下による衝撃など）によって故障及び損傷が発生した場合。
4. お客様が製品を改造、分解、修理された場合。
5. お客様が当社が指定するもの以外の機器と接続したことによって故障または破損した場合。
6. お客様による運送または移動の際に、落下または衝撃によって故障または破損した場合。
7. 火災、地震、風水害、落雷およびそのほかの天災地変、または異常電圧などの外部的要因によって故障または破損した場合。
8. 消耗品の交換  
製品に付属しているケーブル類および電池は無償保証の対象外です。有償交換となります。
9. 以上に掲げる場合のほか、故障の原因がお客様の使用方法にあると認められた場合。

#### 保証範囲

保証規定は、製品についてのみ無償修理をお約束するもので、製品の故障またはお取り扱い上の注意に反する使用により発生した損害、損失については、弊社は一切補償いたしません。

修理または交換にかかる付帯費用（運送費など）は一切補償いたしません。

保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

### 修理について

---

故障と思われる症状が発生した場合は、説明書などをお読みいただき、正しい設定・接続ができていないかをご確認ください。症状が改善されない場合は、弊社ホームページ掲載の「修理依頼書」を印刷の上、修理依頼書に必要事項をご記入いただき、製品に添付して指定の宛先まで現品をお送りください。修理依頼品の発送送料はお客様のご負担とさせていただきますのでご了承ください。

#### 修理依頼・製品の送付先について

代理店、販売店からお買い上げになった場合は、まず代理店などにご相談ください。

#### 修理依頼書の入手先

エイポック ホームページにアクセスしていただき、「サポート 修理依頼」よりダウンロードしてください。

#### お問い合わせ先

製品に関するお問い合わせは、下記の連絡先までメール、電話、FAXでご連絡ください。

#### 株式会社エイポック

ホームページ <http://www.a-poc.co.jp/>

メール [info\\_mail@a-poc.co.jp](mailto:info_mail@a-poc.co.jp)

電話 045-508-5201 FAX 045-508-5202

---

【代理店】

【発行】

株式会社エイポック

〒230-0051

神奈川県横浜市鶴見区鶴見中央

4-36-1

ナイス第2ビル 5F

TEL:045-508-5201

FAX:045-508-5202

URL:<http://www.a-poc.co.jp/>

Rev1.8b Jun 2010